

第151回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ
『眼をひらく 心こころをひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2017年1月20日(金) 午後2時～4時

講 師 海 法龍 (かい ほうりゅう) 氏

講 題 「謝りを感じる生き方」一人間の浮生なる相一

日 程 午後2時00分 真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)

2時15分 講 義

3時45分 質問の時間

4時00分 恩徳讃

講師紹介 1957年熊本県天草市生まれ。真宗大谷派首都圏教化推進本部本部員として、親鸞講座の開催や広報紙『サンガ』や『Sein (ザイン)』の発行など、親鸞聖人の教えを基にした首都圏での教化・広報企画に取り組む。神奈川県横須賀市 長願寺住職。

著 書 『今、南無阿弥陀仏に生きる』真宗大谷派大谷婦人会刊・『一語一会』『凡夫のつぶやき』(日めくりカレンダー) 監修・『僧侶31人のポケット法話集』『大きな字の法話集』共著・リーフレット『通夜葬儀のこころ』『法事のこころ』『中陰のこころ』(東本願寺出版刊)

メッセージ 「水はつかめません すくうもの 心もつかめません 汲みとるもの」(東井義雄)。人でも何でも、つかんで自分のものにしなければ気が済まない生き方をしている自分自身だなど、ハッとさせられました。日々の生活の立ち位置が問われた言葉でした。何処に立って生きているのかと……。汲みとることの難しさを感じます。